

総会議事録

1 開催日時

令和4年5月30日（月）午後1時30分から午後3時40分まで

2 開催場所

山形市役所 11階 大会議室

3 会員数・出席者数

区分	個人	団体	事業者	計	過半数
総会当日の会員数	480	37	172	689	345
総会出席者数	38	10	9	56	—
委任状を含めた出席者数	207	23	157	387	—

・委任状を含めた当日の出席者数は387名で総会定足数の半数を超えたため、総会成立

4 内容 司会進行：佐藤さおりさん（事業者会員：ふじ園）

(1) 設立15周年記念講演

①開会

②会長あいさつ 金澤会長

③記念講演

テーマ：「プラスチック製容器リサイクルに関する取り組みについて」

講師：株式会社エフピコ 環境対策室 ジェネラルマネージャー 富樫英治 氏

要旨：

プラスチック製簡易食品容器（食品トレー類）の製造・販売事業者である(株)エフピコが、なぜ「リサイクル」に力を入れるようになったのか、また、全国に「エフピコ方式」という独自の仕組みを展開することができたのはなぜなのかなど、(株)エフピコのリサイクルの取組みについてのお話のほか、世界的な問題として取り上げられることの多い「海洋プラスチック問題」や、国内のプラスチック資源循環戦略などについて、幅広く講演いただいた。

特記事項は下記のとおり

- ・(株)エフピコが製造・販売する食品トレー類は、「使い終わったら不要になるもの」ではあるが、食品（特に生鮮類）の保護・品質保持の面では「必需品」であり、素材としてみた場合は「非常に優秀な再生原料」である。
正しい分別と回収が守られず、ごみになってしまったときに問題が発生する。
一企業の取り組みである「エフピコ方式のリサイクル」が社会に根付いているのは、サプライチェーンを形成する取引先事業者様や消費者、共に活動する市民団体様などから協力をいただけているおかげである。
- ・(株)エフピコは、エコトレー（リサイクル原料の食品トレー）を作るために使用済み食品トレー類の回収を行っている。現在流通している食品トレー類の中には、リサイクル原料としては利用できない製品（納豆容器やカップ麺の容器、卵パックなど）も多くあるため、そういったものを「回収できないもの」としてお知らせしている。
- ・環境にいいこと、社会的に意義のあることを行おうとしても、一企業だけの取り組みや働きかけでは限界がある。消費者の声によってはじめて制度が変わり、実現できることがあるので、これからも一緒に頑張りたい。

④閉会

(2) 令和4年度総会

①開会

②会長あいさつ 金澤会長

コロナ禍における日常も3年目となり、対処法が確立されてきたことや、ワクチン接種率が高い水準に達していることなどを踏まえ、これまでの「コロナが収まったら」という行動基準を捨て、「コロナを見据えて」着実に活動を続けていくという気概をもって運営していきたい、とのあいさつがあった。

③市長あいさつ 佐藤市長

④議長選出 規約第11条第2項の規定により、総会出席会員の中から丹野一史さん（事業者会員：(株)丹野）が選出された。

⑤議事

議事については、すべて承認された。

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算報告について

説明：会全体事業報告	中村幹事
各部会事業の事業報告	各部長
収支決算報告	桜井事務局長

監査報告について

説明：渡部監事

第2号議案 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

説明：事業計画	長瀬副会長
収支予算	桜井事務局長

第3号議案 役員改選について

任期満了により役員改選を行った。

事務局より、選考委員会の開催および出席者から選考委員を選任する旨を提案し、承認を得たため、次の3名を選考委員に選任し、選考委員会を開催して協議を行った。

選考委員（代表）松本秀幸、横尾峰子、小塚郁子

選考委員会による選考結果について、下記のとおり選考委員代表が報告し、提案どおり承認された。

会長	金澤和子
副会長	長瀬洋子、草苺早苗
幹事	中村明千、鈴木隆男、齋藤淳、荒井安雄、鹿野順子
監事	渡辺明、渡部和生

<質疑応答>なし

⑥閉会